

継続事業評価シート

評価実施日 令和4年3月31日

令和3年度(5年目)

Table with 9 columns: 事業コード, 7, 事業名, 財務データを活用した解決提案の実施, 戦略コード, 1, 戦略名, 育て・挑戦を支える商工会, 商工会名, 潟上市商工会, 担当者名, 太田 美咲, 総轄者名, 安田 幸博, 施策コード, 3, 施策名, 経営目標実現のためのネットde記帳促進

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

職員の異動や若年化などにより、記帳継続指導業務の質的向上が求められていた。

2. 事業のねらい

旧事業名「経験豊富な職員と若手職員によるペア支援制の導入」でスタートし、4年間の取組を通じて若手職員の支援スキルが向上してきた。簡易診断レポートについては、財務分析手法の習得及びレポート作成に時間を要し、これによる超過勤務が発生していたことから、5年目は財務分析の質的向上を図ることを目的として現事業名に変更し、取組を強化する。

3. これまでの評価結果

Table with 10 columns: 過年度, H29, -, H30, B, R1, B, R2, B

・事業実施当初は簡易診断レポートの作成及び提供が中心であったが、徐々にレポートから読み取れる事業者の課題を抽出し、5年目には課題の解決策を提案した。
・定例の経営支援員会議等で支援事例を共有することで全体の記帳業務のスキル及び支援力が向上した。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

・財務課題の早期発見のため、簡易診断レポートを定期的に提供した。
・簡易診断レポートの提供により把握した課題を解決するため、解決策の提案を行った。

5. 事業内容と実績 達成度:a(事業を完遂した)、b(事業に着手したが未遂行)、c(事業に着手しなかった)

Table with 3 columns: 事業内容, 実績, 達成度. Content includes: 経営支援員が商工会財務戦略アドバイザー検定を受験し、記帳業務のスキル及び支援力の向上を図った。...

6. 評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

Table with 17 columns: 項目, 簡易診断レポート提供, 項目, 項目, 項目, H29, H30, R1, R2, R3, 年度, H29, H30, R1, R2, R3, 達成度

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】現状の課題に照らした妥当性 現状の課題に a(対応している) b(一部対応している) c(対応していない) a

〈評価の理由〉

・経験豊富な職員による指導や助言、財務戦略アドバイザー検定の受験等により、記帳スキル及び支援力の向上につながった。
・従来の税務申告までの記帳支援だけでなく、財務データを活用した簡易診断レポートを提供することで、財務課題の解決につながった。

【有効性の観点】事業目標の達成状況 【事業内容】「5. 事業内容と実績」「6. 評価指標と実績」の達成度が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) b

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

・事業実施当初は税務申告に向けた記帳支援が中心であったが、その後の取組を通じて記帳スキル及び支援力が向上し、財務課題解決につながる支援ができた。
・5年間を通じて記帳スキルの向上や記帳業務の平準化が図られ、簡易診断レポートの提供における目標を概ね達成できた。

【効率性の観点】コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況 コスト縮減の取組は a(客観的で効果が高い) b(取り組んでいる) c(取り組んでいない) b

〈コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

・経験豊富な職員による指導や商工会財務戦略アドバイザーの認定等による支援スキル向上により、業務に係る時間を短縮でき、効率的に業務を行うことができた。
・5年間を通じて簡易診断レポートの作成に係る時間を短縮でき、超過勤務手当の低減につながった。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 B

・5年間を通じて、簡易診断レポートの作成・提供をスムーズにできるようになり、事業者の財務課題を把握し、課題解決につながる提案をすることができた。
・財務戦略アドバイザー検定の受験等による自己研鑽等により、この5年間で記帳業務のスキル及び支援力が徐々に向上し、効率的に業務を遂行することができた。

3. 課題

・タイムリーな財務分析による財務課題の早期発見・早期解決
・財務分析内容の質的向上
・職員間のチーム支援による簡易診断レポート(分析結果)の効果的な活用

4. 今後の対応方針(改善点)

・財務会計活用型を強化していくため、これまでの簡易な財務分析からより詳細な分析へと質的向上を図る。
・財務分析を通じて把握した財務課題に対する効果的な解決策の提案及び実行支援をチーム支援により行う。